公益財団法人身体教育医学研究所

令和 4 (2022) 年度事業報告

(令和4(2022)年4月1日から令和5(2023)年3月31日まで)

I.法人の概況

1. 設立年月日等

平成11(1999)年5月15日 研究所開所(社会福祉法人みまき福祉会内)

平成21(2009)年2月2日 一般財団法人設立

平成23(2011)年3月22日 公益財団法人認定(長野県)

令和元 (2019) 年8月31日 開所20周年記念式典

2. 定款に定める目的(定款第3条)

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の 諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人々 の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容(定款第4条)

定款第4条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分		
(1) 身体教育医学に関する調査研究	(公1) 身体教育医学に関する調査研究事業		
(2) 調査研究事業、	(公1) 対件教育医子に関する調査切九事未		
健康づくり事業等の受託及び協力	(公2)健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への		
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	□ (公2) 健康づくりに関する事業支託、講演会・教室へ 講師派遣、相談指導等の教育啓発事		
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	神神が追、作政相等寺が教育が光ず未		
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催	(公3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した		
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	(公3) 伝入主催の切形云、山脈初の光刊、収集した 文献の一般公開等による情報発信事業		
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	大脈ック 放公開寺による情報光信事業		
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	※内容により(公1)~(公3)のいずれかに該当		

4. 所管官庁に関する事項

長野県 総務部 情報公開·法務課

5. 主たる事務所の状況

長野県東御市布下6番地1 ケアポートみまき内

6. 職員に関する事項(令和5(2023)年3月31日現在)

職員数(臨職数)		(臨職数)	前期末比増減 (臨職数)	平均年齢	平均勤続 年数	備考
男 子 6名(2名)		6名(2名)	1名(1名)	52.8 歳	9.33年	うち正規雇用2名は東御市より派遣
女 子 5名(4名)		5名(4名)	0名(0名)	50.4 歳	10.0 年	
全	体	11名(6名)	1名(1名)	51.6 歳	9.7年	平成 25 (2013) 年度末の状況 8名(3名)、+2名、36.6歳、7.3年

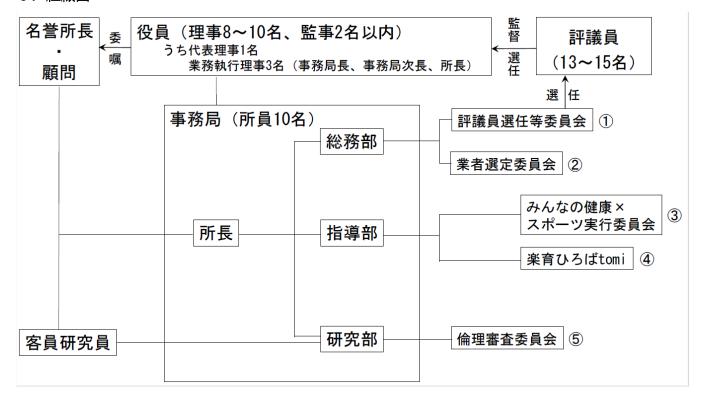
7. 名誉所長、顧問、客員研究員に関する事項(令和5(2023)年3月31日現在)

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現職
名誉所長	武藤 芳照	非常勤	一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所・所長
顧問	桂川 保彦	非常勤	株式会社スポーツデザイン研究所・首席研究員
顧問	木村 貞治	非常勤	信州大学医学部保健学科・教授
顧問	中澤 公孝	非常勤	東京大学スポーツ先端科学連携研究機構・機構長
客員研究部長	奥泉 宏康	非常勤	上田市武石診療所・所長
客員研究部長	上岡 洋晴	非常勤	東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻・教授
客員研究部長	小松 泰喜	非常勤	日本大学スポーツ科学部・教授
客員研究部長	朴 眩泰	非常勤	韓国・東亜大学校・健康科学大学長
客員研究員	大関 真理子	非常勤	公益財団法人ニッポンドットコム・総務部長
客員研究員	加藤 美絵	非常勤	元身体教育医学研究所・研究員
客員研究員	金藤 理絵	非常勤	東御市企画振興部文化・スポーツ振興課・GMO アスリーツパーク湯の丸 PR 大使
客員研究員	鎌田 真光	非常勤	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻・講師
客員研究員	佐藤 照友旭	非常勤	元公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・アスリートサービスチーム係長
客員研究員	髙橋 亮輔	非常勤	日本大学理工学部・准教授
客員研究員	朴 相俊	非常勤	佐久大学看護学部・教授

8. 役員等に関する事項(令和5(2023)年3月31日現在)

01 KX 11 (-1X)		7 (2020) 0	3月31日現住)
役職	氏 名	常勤・非常勤	現職
評議員	荒川 玲子	非常勤	NPO 法人うえだミックスポーツクラブ・理事長
評議員	飯島 裕一	非常勤	信濃毎日新聞社・特別編集委員
評議員	石和 大	非常勤	長野県議会・議員
評議員	岩橋 輝明	非常勤	東御市民病院・院長
評議員	掛川 卓男	非常勤	㈱信州東御市振興公社・取締役総務部長
評議員	久堀 周治郎	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・理事長
評議員	後藤 誠	非常勤	東御市工業振興会・代表
評議員	小山 隆文	非常勤	東御市・教育長
評議員	田中 信寿	非常勤	東御市議会・副議長
評議員	茅野 隆徳	非常勤	社会福祉法人上田明照会・専門幹
評議員	中堀 雅夫	非常勤	NPO 法人東御市スポーツ協会・会長
評議員	堀内 ふき	非常勤	佐久大学・学長
評議員	三井 一孝	非常勤	長野県上田保健福祉事務所・副所長
評議員	柳沢 まさる	非常勤	前東御市民生児童委員協議会・理事
評議員	横山 好範	非常勤	社会福祉法人東御市社会福祉協議会・会長
代表理事	田丸 基廣	非常勤	東御市・副市長
業務執行理事	小林 秀行	非常勤	東御市・健康福祉部長
業務執行理事	翠川 昌博	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・常務理事
業務執行理事	岡田 真平	常勤	公益財団法人身体教育医学研究所・所長
理事	北湯口 純	非常勤	身体教育医学研究所うんなん・主任研究員
理事	工藤保子	非常勤	大東文化大学スポーツ・健康科学部・准教授
理事	齋藤 文護	非常勤	東御市立みまき温泉診療所・所長
理事	三溝 和子	非常勤	東御市スポーツ推進委員会・代表
理事	田中 千晶	非常勤	東京家政学院大学人間栄養学部・教授
理事	中村 崇	非常勤	一般社団法人健康福祉広域支援協会・代表理事
監事	小林 経明	非常勤	学校法人信学会・理事長、長野女子短期大学・学長
監事	堀内 和子	非常勤	株式会社エフエムとうみ・代表取締役

9. 組織図



※各委員会の構成

①評議員選任等委員会(5人)

評議員1人、監事1人、事務局員1人、外部委員2人

②業者選定委員会(委員長及び委員若干名)

委員長:業務執行理事(事務局次長) 委員:理事1名、評議員1名、監事1名、所長、総務部若干名

③みんなの健康×スポーツ実行委員会(20人以内)

東御市身体障害者福祉協会、東御市手をつなぐ育成会、陽だまりの会、ぴかそくらぶ、はこべの会、 東御市、東御市教育委員会、東御市スポーツ推進委員会、(特非)東御市スポーツ協会、(福)みまき福祉会、 (福)東御市社会福祉協議会、(福)ちいさがた福祉会、(一社)Sany TOMI、(公財)身体教育医学研究所(事務局)

④楽育ひろば tomi (20 人以内)

- (1)公益財団法人身体教育医学研究所関係者
- (2)東御市及び周辺地域の教育・福祉関係者
- (3)東御市役所内関連部署関係者
- (4)識見を有する者

⑤倫理審査委員会(5人以上)

- (1)医学・医療の専門家等、自然科学の有識者が含まれていること (福)みまき福祉会(理事長)、市立みまき温泉診療所(所長)、東京農業大学(教授)
- (2)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者が含まれていること (福)みまき福祉会 (理事長職務代理)
- (3)研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者が含まれていること 学識経験者
- (4)委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること
- (5)男女両性で構成されていること
- (6)5 人以上であること

Ⅱ. 事業の状況

1. 事業の実施状況

2022年度は、第3期中期計画の3年目として、掲げた基本的考え【コンセプト】、社会的使命【ミッション】、行動指針【ビジョン】に沿って、当年度の重点課題を定めたうえで各種事業に取り組んだ。

~基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】~

「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

行動指針【ビジョン】しんたいは、「子どもの育ち」「心身の健康」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成にも貢献します。

まず要旨として、年度当初の事業計画に記載した以下の重点課題に沿って事業の概況を報告する。

<重点課題>

- 1. 第3期中期計画(2020-2023)後期に入り、社会情勢の変化に対応しつつ、法人の持続的発展・財源安定とSDGs(持続可能な開発目標)の達成への貢献とが両立できる活動基盤を構築していく。
- 2. 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。(公1,3)
- 3. 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。(公2)

①重点課題 (1)

第3期中期計画(2020-2023)後期に入り、社会情勢の変化に対応しつつ、法人の持続的発展・財源安定とSDGs(持続可能な開発目標)の達成への貢献とが両立できる活動基盤を構築していく。

正規5名と臨時6名の職員体制で多様な業務を円滑に遂行できるよう、各部門や各所員の役割を明確にするとともに、地域と協働した活動(楽育ひろば、みんなの健康×スポーツ、総合型クラブとの連携)をさらに推進するなど、限られた人員の中で活動の質を高める仕組みづくりに継続的に取り組んできた。影響が続く新型コロナウイルス感染症に関しても、勤務形態の柔軟な対応に加えて、with コロナで指導現場が回復しつつあり、特に(公2)教育啓発事業の経常収益は、感染拡大前の2019年度19,133,793円に対して、2021年度13,012,643円(2019年度対比68%で6,121,150円の減)まで大きく下がった

業務上では、研究、実践の両面において、幅広いネットワークの中で連携をコーディネートする役割が定着してきており、調査研究事業と教育啓発事業の展開における当研究所の強みとなっている。また、コロナ禍にあっても活動可能な組織体として、柔軟な運営を行っている。今後に向けてさらに組織体制や活動内容を充実・発展できるよう、地域からの特色ある発信とシンクタンク機能の強化を進めていく。加えて、第3期中期計画の中に明示したSDGsのゴール・ターゲットに対して、当研究所の各種活動が貢献できることは明確であり、今後はSDGsとの親和性の高さも法人活動の強みとしていく。

が、2022 年度は23.422.347円と、教育啓発事業収益は大きく回復した(図2経常収益の推移①参照)。

収支全般の状況で報告すべき主な点は次の通り。 【単位:円】

項目	2022 年度	2021 年度	対前年増減額	前年対比
経常収益計	73,374,736	67,473,912	5,900,824	109%
うち(公2)教育啓発事業	23,422,347	13,012,643	10,409,704	180%
事業収益	42,873,571	25,312,913	17,560,658	169%
受取補助金等	19,874,098	31,658,000	-11,783,902	63%
受取寄附金	10,626,700	10,503,469	123,231	101%
経常費用計	71,911,841	72,045,745	-133,904	100%
事業費	68,717,083	70,052,591	-1,335,508	98%
当期経常増減額	1,462,895	-4,571,833	6,034,728	-32%
一般正味財産期末残高	14,739,531	13,276,636	1,462,895	111%
指定正味財産期末残高	34,382,902	47,200,000	-12,817,098	73%
正味財産期末残高	49,122,433	60,476,636	-11,354,203	81%

今年度の正味財産期末残高は、前年度の 60,476,636 円から 49,122,433 円へと減少した。これは、2021 年度から新たに助成を受けた予算規模の大きい日本財団助成事業 (47,200,000 円、2023 年度まで延長) から計画通り支出しているものであり、今後も確実に支出するものである。年度によって経常収益・費用の変動が大きい状況はこれまで同様変わっておらず、改めて長期的な資金の見通しが立つ財源を確保し、より安定した持続可能な体制を確立していかなければならない。具体的には、賛助会員制度の本格運用による「しんたい応援寄附金」の公募等への積極的な取り組みが必要だが、これには、公益目的事業1,2,3の充実の中で賛助会員登録を喚起できるような仕組みづくりが不可欠となる。

②重点課題(2)

事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。(公1,3)

2022 年度も継続的に、地域の要望に応じたテーマと研究所が主体的に取り組むテーマとを融合させて、市の健康福祉・教育関連の分析業務を行うとともに、高地プール関連では、運営支援にかかる業務に加えて、今後のスポーツ医科学サポートにつながる「高地トレーニング定期利用効果の研究事業」を新たに実施した。加えて高地関連のつながりから派生した企業との共同研究として、大塚製薬株式会社「食事内容が腸内細菌叢の遺伝子発現と食材に対する腸内細菌の応答性に及ぼす影響に関する探索的検討」にも取り組んだ。さらには、食に関する共同研究としてもう1件、長野県立大学との「高齢者のヘルスリテラシー向上を目的とした栄養教育に関する研究」も行った。

2021 年度末に着手した日本財団助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」については、コロナ禍の影響も受けて2023 年度まで事業期間を延長することになった。

継続的な連携協力関係を基盤とした一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業では「子どもが自然の中であそぶことの身体教育的意義と課題に関する調査研究」を行うとともに、新たに一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構がスポーツ庁から受託した事業「障害者スポーツ推進プロジェクト(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)」にも協力し、いずれも市民還元に繋がる資料を得ることができた。

また、今年度から新たに、全国組織である一般社団法人日本転倒予防学会の事務局業務を受託して、国内で転倒予防の学術研究と社会啓発を推進するネットワークの要となる機能を担うことになった。

調査研究活動(分担研究・共同研究含む)のアウトプットとしては、自己資金・外部資金による調査研究実績7件、学術論文実績5件、編著書3件、学会発表6件であった。なお、主任研究者としての研究成果発信や、所員が主体的に取り組む研究の質・量の向上、文部科学省の研究機関の指定等を活用した競争的資金の獲得、倫理審査体制の充実を含めた大学との連携は継続課題として残っている。

「しんたい学会」は、2018年度の第8回以降、コロナ禍の影響で開催できなかったが、年度末に市との共同開催で子どもの居場所づくりをテーマとしたパネルディスカッションを行うことができた。

関係する各種団体への役員等の関わりは 30 件(前年度 30 件)、書籍・新聞・雑誌等への掲載は 44 件(前年度 47 件)であった。

③重点課題(3)

理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。(公2)

教育啓発事業の規模を件数及び対象人数で示すと (新型コロナウイルス感染症拡大の影響あり)、

- ・健康づくり事業: 547件(前年度 622件の 88%。 ワクチン接種支援除き <math>479件(前年度 330件の 145%))、 15,442人(同 24,124人の 64%。 ワクチン接種支援除き <math>10,386人(前年度 8,331人の 125%)
- ・講演等への講師派遣:139件(同132件の105%)、7,354人(同5,858人の126%)
- ・相談及び指導:94件(同99件の95%)、3,544人(同4,540人の78%) 以上を合計すると、
- ・ワクチン接種支援を含み 780 件、26,340 人、
- ・ワクチン接種支援を除き 712 件 (同 561 件の 127%)、21,284 人 (同 18,729 人の 114%)であった。また、これまでと同様に、直接指導と並行して人材育成を通した地域貢献に関わる業務量は大きい状況であり、中でも、健康づくりに関する相談及び指導に含まれる「『みんなの健康×スポーツ』実行委員会事業」と「楽育ひろば tomi 事業」の 2 つの事業は、いずれも研究所が事業を組み立て、関係機関や地域ボランティア等の積極的な参画を得ての取り組みが定着するとともに、市や関連団体の関与もさらに強まってきており、法人が主体的に地域に働きかける事業として重要な位置づけになっている。

加えて、研究所が設立と運営に深く関わっている総合型地域スポーツクラブ「一般社団法人 Sany TOMI」が通年での活動を本格的にスタートしたことで、地域との協働による取り組みがより充実した形で取り組めるようになった。

(1) 身体教育医学に関する調査研究

- 1. 自己資金による調査研究事業
 - ① 東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業「子どもが自然の中であそぶことの身体教育的意義と課題に関する調査研究」(渡邉真也・谷貴人)
- 2. 外部資金による調査研究事業
 - ① 日本財団 2021 年度助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」(岡田真平・横井佳代)
 - ② スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 令和 4 年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)」(半田秀一・岡田佳澄)
 - ③ 日本農村医学会・農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」 (岡田真平<分担>)
 - ④ 東京家政学院大学 科研費基盤研究(B)「全国大規模調査による幼児期の身体活動、座位行動、睡眠 と発育・発達指導との関連」(岡田真平・渡邉真也)
 - ⑤ 長野県立大学共同研究「地域健康増進施設利用高齢者のヘルスリテラシー向上を目的とした栄養教育に関する研究」(岡田真平・半田秀一・横井佳代)
 - ⑥ 大塚製薬株式会社共同研究「健常成人を対象とした食事内容が腸内細菌叢の遺伝子発現と食材に 対する腸内細菌の応答性に及ぼす影響に関する探索的検討~非盲検試験~」(岡田真平・半田秀一)

3. 学術論文

- ① H Kamioka, H Okuizumi, S Handa, J Kitayuguchi, R Machida. Effect of non-surgical interventions on pain relief and symptom improvement in farmers with diseases of the musculoskeletal system or connective tissue: an exploratory systematic review based on randomized controlled trials. Journal of Rural Medicine, 17(1):1-13, 2022.
- ② T Abe, J Kitayuguchi, N Fukushima, M Kamada, <u>S Okada</u>, K Ueta, C Tanaka, Y Mutoh. Fundamental movement skills in preschoolers before and during the COVID-19 pandemic in Japan: a serial cross-sectional study. Environmental Health and Preventive Medicine, 27:26, https://doi.org/10.1265/ehpm.22-00049, 2022.
- ③ Y Saito, Y Oguma, S Inoue R Breugelmans, H Kikuchi, K Oka, <u>S Okada</u>, N Takeda, KL Cain, JF.Sallis. Inter-rater reliability of streetscape audits using online observations: Microscale Audit of Pedestrian Streetscapes (MAPS) global in Japan. Preventive Medicine Reports, 30, https://doi.org/10.1016/j.pmedr.2022.102043, 2022.
- ④ T Baba, M Watanabe, H Ogihara, S Handa, K Sasamoto, S Okada, H Okuizumi, T Kimura. Validity of temporo-spatial characteristics of gait as an index for fall risk screening in community-dwelling older people. Journal of Physical Therapy Science, 35(3):265-269, 2023.
- ⑤ 武藤芳照, 北湯口純, **岡田真平**, 甲斐美和子. 労災で最も多い「転倒」の予防. 産業保健と看護, 14(5), 442-449, 2022.

4. 編著書

- ① 武藤芳照, **岡田真平**. 転倒予防に関わる最新の統計-日本人の平均寿命・健康寿命. 転倒予防白書 2023 (武藤芳照, 鈴木みずえ, 萩野浩, 大高洋平編著), pp2-7, 日本医事新報社, 2023.
- ② 北湯口純, **岡田真平**. 国内外の転倒予防に関わる学術研究の動向-地域. 転倒予防白書 2023 (武藤芳照, 鈴木みずえ, 萩野浩, 大高洋平編著), pp98-104, 日本医事新報社, 2023.
- ③ <u>岡田真平, 半田秀一</u>. 職場全体で事故防止に取り組む「体力・運動能力の測定・評価」. 高年齢労働者のための転倒転落事故防止マニュアル(武藤芳照, 萩野浩, 三上容司, 竹下克志編著), pp86-90, 新興医学出版社, 2023.

5. 学会発表

- ① <u>岡田真平</u>. 地域医療とともに歩んだ身体教育医学研究所の活動. 第66回長野県国保地域医療学会・パネルディスカッション, 東御市,6月26日,2022.
- ② <u>半田秀一, 岡田真平, 横井佳代,</u> 佐藤照友旭, 齋藤文護, 内田健志, 吉田恵里子, 赤松裕訓, 朴相俊. スケソウダラの速筋タンパク摂取頻度が筋機能に与える影響. 第77回日本体力医学会大会, 宇都宮市 WEB, 9月 21-23日, 2022.

- ③ 赤松裕訓, 半田秀一, 横井佳代, 佐藤照友旭, 吉田恵里子, 齋藤文護, 朴相俊, 内田健志, 岡田真 平. スケソウダラの速筋タンパク摂取による筋力増加に有効な摂取頻度と特に有効な栄養成分摂 取状態の検討. 第44回日本臨床栄養学会総会, 盛岡市, 10月7-9日, 2022.
- ④ 齋藤義信, 井上茂, 岡浩一朗, 岡田真平, 小熊祐子, 鎌田真光, 菊池宏幸, 武田典子, 村上晴香. 近 隣環境オーディットツール MAPS Global 日本版の信頼性. 第81回日本公衆衛生学会総会, 甲府 市, 10月7-9日, 2022.
- ⑤ 岡田真平,半田秀一,武藤芳照,小菅武志,花岡利夫.パラアスリートによる国内高地トレーニン グ拠点の活用:長野県東御市湯の丸高原の事例.第31回日本パラスポーツ学会.奈良市,12月5 日,2022.
- ⑥ 喜屋武享, 高倉実, 田中茂穂, 奥田昌之, 岡田真平, John J. Reilly, Mark S. Tremblay, Anthony D. Okely, 田中千晶. 沖縄県の幼児における社会経済状態と 24 時間の日常生活行動との関連: SUNRISE study. 日本発育発達学会第 21 回大会, 豊田市, 3 月 18-19 日, 2023.

	件数	のべ人数
調査研究事業	計12件	計 63 人
① 東御市健康保健課		
1) 5 地区別健康課題資料作成業務		
2) 特定健診データ集計・分析業務		
3) 高齢者保健・介護予防一体的実施事業分析業務		
② 東御市福祉課		
1) 地域支援事業評価分析事業		
③ 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション		
1) モニタリング調査等業務		
2) 高地トレーニング効果研究事業		
・スウィン大宮 高地トレーニング定期利用効果の研究	11	33
・競泳コーチのための湯の丸特別セミナー	1	30
④ 一般社団法人日本転倒予防学会事務局業務		
2.健康づくり事業等	計 547 件	計15442人
①東御市健康保健課健康増進係		
1)出前講座 運動教室等指導事業(集団)	19	558
2)特定健診受診者運動教室指導事業(集団)	15	156
3)健康づくり運動教室指導事業(集団)	12	43
4)健康づくり事業	-	-
5)糖尿病性腎症重症予防等指導業務	-	-
②東御市健康保健課保健係		
1)心の健康づくり推進事業	-	-
2)新型コロナワクチン集団接種運営業務	68	5056
③東御市福祉課高齢者係		
1)介護予防把握事業(健脚度測定、ずく出し教室)	58	640
2)地域リハビリテーション活動支援事業	26	361
3)介護予防指導員派遣事業	31	565
4)オンライン通いの場アプリ「つどエール」利用契約業務	-	-
④東御市子育て支援課		
1)運動指導等講師派遣業務	8	191
2)東御の子どもの元気な育ちを支える事業	13	282
⑤東御市企画政策部文化・スポーツ振興室		
1)障がい児者の健康づくり運動実施支援	11	558
⑥東御市学校教育係		
O 21 - 1 1 1 1 1 1 2 1 2 - 1 1 1 1 1		

2)小学校新体力テスト集計分析業務		
7 ②東御市民病院庶務係	-	-
1)みまき温泉診療所 リハビリ指導助手派遣	24	351
2)みまき温泉診療所 リハビリテーション業務	48	331
3)東御市の医療・保健・福祉・教育・スポーツ分野における	-	-
医科学サポート・連携推進・人材育成業務		
⑧社会福祉法人みまき福祉会 理学療法士派遣		
1)温泉アクティブセンター	8	8
2)特別養護老人ホームケアポートみまき	38	392
②立科町	90	302
1)いきいきストレッチ教室	8	204
2)たてしな保育園運動あそび指導事業業務	26	897
3)立科小学校運動能力向上業務	15	1350
®Sany TOMI	10	1000
1)元気塾放課後こども教室「げんき塾」支援	16	353
2)Sany クラブ	12	95
3)カヌー体験	5	51
4)湯の丸ウォーキング	5	10
5)担当者会議	11	65
①学校法人円福学園		
1)円福幼稚園	25	1839
2)研修生受入れ	9	9
②学校法人長野日本大学学園あかしや幼稚園		
1)あかしや幼稚園	5	200
③長野県立大学		
1)ハッピー栄養教室	6	120
④その他		
1)東御市田楽平区健康サロン	11	80
2)東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	3	100
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	計 139 件	計7354人
1. 授業講師	計 199 1十	司 7504 八
① 上田女子短期大学	37	4194
②信州スポーツ医療福祉専門学校	30	1360
③ 長野救命医療専門学校	15	315
④ 東御清翔高等学校	4	108
2. 講演会、健康づくり教室講師:依頼に応じて随時対応(別表)	53	1377
2. 時限五、陸隊 2 () 教主時間: [99	1077
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	計 94 件	計 3544 人
里山探検活動「キラキラ」(2-3 歳児の親子活動)	20	667
里山探検活動「ドキドキ」(年中から小1の子ども活動)	16	477
里山探検活動「ニコニコ」(親子自然体験活動)	17	1204
里山探検事業デイキャンプ	1	114
小学生の里山探検	5	101
ボランティア研修会(安全管理講習、フィールドリーダー会議)	12	72
2. 「みんなの健康×スポーツ」実行委員会事業		
とうみユニバーサルスポーツクラブ「わくわくスポーツ」	9	470
3. B&G財団休眠預金助成事業		
子ども誰でも居場所「くる me」	2	51

子ども誰でも居場所「くる me プラス」	6	120
カヌー体験活動	6	268
1.カヌー体験(市内教員向け)	8/28	8
2.しんたい学会「豊かな遊びを保障し、安心できる子どもたちの居場所を共	3/25	176
に考えよう」		

(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行

1.自然の中の子どものあそび ~からだを育み、こころを育み、五感を育む~

(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧

1. 研究所図書室の充実

図書 1617 冊 報告書資料 80 冊

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1. 各種団体役員等
 - 1) 公益財団法人運動器の健康・日本協会理事(岡田真平)
 - 2) 社会福祉法人みまき福祉会理事 (岡田真平)
 - 3) 身体教育医学研究所うんなん運営委員(岡田真平)
 - 4) NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部長(岡田真平)
 - 5) 日本転倒予防学会総務担当理事(岡田真平)
 - 6) 信州公衆衛生学会理事・編集委員 (岡田真平)
 - 7) 日本運動疫学会編集委員・プロジェクト研究委員 (岡田真平)
 - 8) 日本障がい者スポーツ学会理事(岡田真平)
 - 9) 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事(岡田真平)
 - 10) 一般財団法人浅間山麓スポーツ医学研究所幹事(岡田真平)
 - 11) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員(岡田真平)
 - 12) 高齢化社会--ウェルビーングマネジメントシステム国際標準化委員会委員(岡田真平)
 - 13) とうみユニバーサルスポーツクラブ理事・NPO 法人東御市スポーツ協会評議員(岡田真平)
 - 14) 御牧ふれあいの郷づくり協議会生活環境部会長(岡田真平)
 - 15) 東御市スポーツ推進審議会委員(岡田真平)
 - 16) みんなの健康×スポーツ実行委員 (岡田真平:代表・半田秀一・岡田佳澄・上薗美千代)
 - 17) 東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会委員(岡田真平・渡邉真也)
 - 18) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会副会長(半田秀一)
 - 19) 日本障がい者スポーツ協会・指導者協議会トレーナー部会北信越ブロック代表(半田秀一)
 - 20) 高所トレーニング環境システム研究会専門委員(半田秀一)
 - 21) 総合型地域スポーツクラブ NPO 法人うえだミックスポーツクラブ理事 (渡邉真也)
 - 22) 北御牧名立友好協会幹事 (渡邉真也)
 - 23) 信州男性保育者ネットワーク世話人 (渡邉真也)
 - 24) 北御牧地区友遊クラブ実行委員(渡邉真也:実行委員長・谷貴人)
 - 25) 楽育ひろば tomi (渡邉真也:代表・谷貴人)
 - 26) 東御市社会教育委員 (岡田佳澄)
 - 27) 東御市いじめ・不登校対策連絡協議会委員(岡田佳澄)
 - 28) 東御市立北御牧中学校学校評議員(岡田佳澄)
 - 29) 東御市生活支援協議体委員(横井佳代)
 - 30) 一般財団法人 Sany TOMI 理事(岡田真平)

2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載

- 1) 太陽生命クアオルトアワード 東御市が「優秀賞」受賞(信濃民報、2022.4.12)
- 2) 太陽生命クアオルトアワード 東御市に優秀賞 健康推進が評価(東信ジャーナル、2022.4.13)
- 3) ボッチャを地域に広めたい ガイドブック、動画も制作(信濃毎日新聞、2022.4.27)

- 4) リオ五輪金の金藤さん マスターズで競技復帰へ(信濃毎日新聞、2022.4.28)
- 5) 活動 10 周年を記念して「里山探検のススメ」発刊! (信州民報、2022.4.28)
- 6) 高齢者の健康づくりに貢献 温泉アクティブセンター (信濃毎日新聞、2022.5.13)
- 7) 10周年子どもの姿、生き生きと「里山探検」歩み冊子に(信濃毎日新聞、2022.5.13)
- 8) ふるさと納税と寄附で東御市に 2 億 1100 万円 プール運営費などへ(信濃毎日新聞、2022.5.26)
- 9) 「チャレンジデー」親子で運動楽しく (信濃毎日新聞、2022.5.26)
- 10) 特集 東京五輪 2 冠 大橋悠依選手 単独インタビュー(市報とうみ 6 月号)
- 11) 県水泳連盟柄澤副理事長 水球・飛び込み地道に育成(信濃毎日新聞、2022.6.1)
- 12) 湯の丸アスリート食堂で企画 初の「食事体験」参加者募集(信州民報、2022.6.11)
- 13) 介護予防住民指導者を育成しよう!楽しく5回の講座ひらく(信州民報、2026.6.25)
- 14) 小・中学校の給食で「アスリート食事体験」「美味しかった」と笑顔で感想(信州民報、2022.7.6)
- 15) 県内の森林サービス産業 茅野で全国発の研修会 「里山探検」紹介(信濃毎日新聞、2022.7.8)
- 16) 東御でボッチャ 東京パラ金 杉村選手と楽しむ(信濃毎日新聞、2022.8.22)
- 17) 東御で「みんなのスポーツ体験会」 杉村選手の実演も(東信ジャーナル、2022.8.25)
- 18) 小中教員 車いすバスケ体験 障がい者スポーツ研修会で (讀賣新聞、2022.8.26)
- 19) 和小で教員対象「障がい者スポーツ研修」講師はパラ銀上原大祐さん(信州民報 2022.8.26)
- 20) 東京パラ金の杉村選手 ボッチャを通じて市民と交流(市報とうみ、2022.9月号)
- 21) 北御牧、名立の両地区の住民 特産品交換 末永く交流を(信濃毎日新聞、2022.9.2)
- 22) 市内で合宿の日体大体操部が演技発表会!3年ぶり開催(信州民報、2022.9.3)
- 23) 日体大体操部 市民ら前に迫力の演技! (信濃毎日新聞、2022.9.8)
- 24) スポーツの流儀「GMO湯の丸アスリーツパーク」特集(日本経済新聞、2022.9.16)
- 25) 北御牧・名立友好協会 特産のトウモロコシとタコ交換(信濃毎日新聞、2022.9.17)
- 26) 東御の子ども食堂「くる me」がカヤック体験(信濃毎日新聞、2022.9.26)
- 27) お店で転倒 責任誰に?「転倒予防学会」武藤名誉所長 記事掲載 (讀賣新聞、2022.10.7)
- 28) ボッチャ信州に広がれ「県民パラスポーツ大会」開催(信濃毎日新聞、2022.10.23)
- 29) 湯の丸で小・中学生がアスリートの食事体験(信州民報、2022.11.29)
- 30) 平井氏より 湯の丸合宿での高地トレーニングについて紹介 (スイミングマガジン、2022.12.9)
- 31) 楽育ひろば tomi 代表の飯島氏より 里山探検活動について紹介(シニア連だより、2022.12.10)
- 32) 南牧村で外国人実習生「ボッチャ」を通じて親睦を深めた(信濃毎日新聞、2022.12.3)
- 33) 持久力と筋力を向上 湯の丸高地トレーニング施設について紹介 (Tarzan、2022.12.22)
- 34) 楽育ひろば tomi 「地域発 元気づくり支援金」優良事例表彰式 (東信ジャーナル、2022.12.28)
- 35) おいでなんし御牧原の会「9つのウォーキングコース」を設定(信州民報、2023.1.5)
- 36) ボッチャ交流大会 2023 障害の有無問わず楽しんで (信濃毎日新聞、2023.2.3)
- 37) B&G 財団休眠預金事業 評価・成果報告リーフレット完成(B&G 財団、2023.2.16)
- 38) ボッチャいっちょ投げた 東御で交流大会開催(信濃毎日新聞、2023.2.16)
- 39) 「とうみボッチャ 2023」大会の様子掲載(市報とうみ、3月号)
- 40) 日本体育大学と体育・スポーツ振興に関する連携協定を締結(信州民報、2023.3.1)
- 41) 高地でトレーニングをする成田選手 16歳 世界選手権代表入り (東京新聞、2023.3.7)
- 42) 子どもの居場所づくり考えよう 「しんたい学会」開催周知(信濃毎日新聞、2023.3.15)
- 43) ボッチャお披露目 親子で競技 東御市手をつなぐ育成会(東信ジャーナル、2023.3.23)
- 44) 子どもの居場所づくりイベント「しんたい学会」に 160人が参加(信州民報、2023.3.31)

【別表】

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣

2. 講演会、健康づくり教室講師 の詳細

	実施日	依頼元・依頼事業	場所	内容	担当
【市	内】	1974/257 Q 1974/25 da 75	-99171	175	,
	2022/7/15	東御市民病院・東御市民病院糖尿病教育委員会	東御市民病院	糖尿病教育委員会・会議	横井
	2022/7/22	おひさまこども園	四季の森	自然体験活動	谷
	2022/8/20	北御牧中学校・北御牧中学校キャリア教育	北御牧中学校	健康運動指導士の仕事	渡邉
	2022/9/28	東御市民生児童委員協議会・障がい者・高齢者福祉部会合同研修会	中央公民館	社会的孤立者の災害時支援」討論会	岡田
	2022/9/30	北御牧地区健康づくり推進員	北御牧公民館	スロージョギング	横井
	2022/10/8	***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ウォーキング教室	横井
	2022/11/27	北御牧地区健康づくり推進員	芸術むら公園	プールウォーキング教室	横井
	2022/11/27	滋野地区健康づくり推進員		家庭でできる健康体操	横井
	2023/1/21	和地区健康づくり推進員会	和コミュニティーセンター	家庭でできる健康体操	横井
	2023/2/27	在学経済部農林課農政係・農村女性ネットワークとうみ事務局	ļ		横井
	内】	在未作用IP放作体放映所	来即印第 怀日四	7 P 7 7 7 1 2 7 X E	19471
1	_	ミックスポーツクラブ・ミックススポーツ理事	ミックスポーツクラブ	田 車 △	渡邉
2		************************************		学 子どもが夢中になる運動あそび	渡邉
3					
		ミックスポーツクラブ・ミックススポーツ理事	ミックスポーツクラブ		渡邉
4		長野県国保地域医療学会		パネルディスカッション	岡田
5		軽井沢町・軽井沢スポーツ推進ビジョン策定委員会	Zoom	軽井沢スポーツ推進ビジョン策定委員会	岡田
6		国土緑化推進機構・森林サービス産業オープン・ラボ inNAGANO	<u> </u>	森林サービス産業オープン・ラボ inNAGANO	谷
7		長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	長野県庁	オーラルフレイル対策タスクフォース第1回会議	横井
8		小諸市公民館・川辺支館	小諸市市民交流センター		岡田佳
9		北信地区協会保育士部会	Zoom	運動あそびと遊びの本質	渡邉
10		長野県健康福祉部介護支援課 	Zoom	フレイル予防啓発資料作成にかかる検討会(Web)	岡田・横井
11		長野県健康福祉部健康増進課・運動アドバイザー派遣事業 	株式会社相和	運動習慣定着の取り組みについて(ストレッチング) 	横井
12	2022/9/6	長野県温泉協会・温泉療養指導士養成講習会	高山村保健福祉総合センター	水中運動概論	岡田
13	2022/9/16	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	長野県庁	オーラルフレイル対策タスクフォース第2回会議	横井
14	2022/9/19	長野県健康福祉部健康増進課・運動アドバイザー派遣事業	NPO法人側代田町はつらつサポーター	高齢者のフレイル予防体操・太極拳風リズム体操	横井
15	2022/10/4	立科町役場町民課保健福祉係・保健委員会研修会	権現山運動公園周辺	「さわやかウォーキング」ウォーキング・歩き方・ストレッチング	横井
16	2022/10/13	長野県健康福祉部健康増進課・運動アドバイザー派遣事業	有限会社平林精機	ストレッチング	横井
17	2022/10/27	長野県健康福祉部健康増進課・運動アドバイザー派遣事業	有限会社平林精機	ストレッチング	横井
18	2022/11/3	長野県健康福祉部健康増進課・運動アドバイザー派遣事業	佐久穂町生涯学習会館メリアホール	健康体操「太極拳風リズム体操」20分間実施	横井
19	2022/11/21	長野県健康福祉部健康増進課・運動アドバイザー派遣事業	NPO法人御代田町はつらつサポーター	健康体操作成	横井
20	2022/11/25	長野県健康福祉部介護支援課・フレイル予防啓発資料作成	Zoom	フレイル予防啓発資料作成にかかる検討会	岡田・横井
21	2022/11/27	NPO法人佐久平総合リハビリセンター 介護予防住民指導者フォーラム	佐久創練センター	「住民が住民を指導する介護予防社会を目指して」シンポジウム	岡田
22	2022/11/29	長野県健康福祉部健康増進課・運動アドバイザー派遣事業	緑の牧場学園	ストレッチング	横井
23	2022/12/11	青年海外協力隊長野県OB会	広瀬まなびや	ボッチャ競技の運営	岡田佳
24	2023/1/25	軽井沢町・軽井沢スポーツ推進ビジョン策定委員会	Zoom	軽井沢スポーツ推進ビジョン策定委員会	岡田
25	2023/2/1	ミックスポーツクラブ・ミックススポーツ理事	ミックスポーツクラブ	理事会	渡邉
26	2023/2/14	長野県健康福祉部健康増進課・長野県健康づくり推進県民会議	Zoom	長野県健康づくり推進県民会議	岡田
27	2023/2/16	長野県健康福祉部健康増進課・地域における運動習慣定着に向けた研修会	Zoom	自宅で取り組むフレイル予防・筋トレの習慣化	岡田
28	2023/2/28	長野県障がい者スポーツ協会・長野県障がい者スポーツ指導員会議	Zoom	長野県障がい者スポーツ指導員会議	半田
29	2023/3/1	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース第3回会議	Zoom	オーラルフレイル対策タスクフォース第3回会議	横井
30	2023/3/1	長野県健康福祉部介護支援課・フレイル予防総合推進検討会	Zoom	フレイル予防総合推進検討会	岡田
31	2023/3/10	御代田町保健福祉課地域包括支援係・介護予防教室	あつもりホール	介護予防教室「楽しく体を動かそう」	横井
【県	外】				
1	2022/5/18	社会的健康戦略研究所・ウェルビーングマネジメントシステム検討	WEB会議	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
2		大塚製薬株式会社・NrCフォーラム	AP品川	────────────────────────────────────	岡田
3	2022/7/11				
4	2022/7/15	日体大保健医療学部整復医療学科・野外活動実習	明神池	野外活動実習	渡邉他
5		公益財団法人日本パラスポーツ協会・障がい者スポーツトレーナー部会	WEB会議	D	半田
6		社会的健康戦略研究所・ウェルビーングマネジメントシステム検討	WEB会議	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
7		公益財団法人健康体力づくり事業財団・健康運動指導士養成カリキュラム検討委員会	WEB会議	健康運動指導士養成カリキュラム検討委員会	岡田
8		社会的健康戦略研究所・ウェルビーングマネジメントシステム検討	WEB会議	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
9		東京大学教育学部・保健体育科教育法(実践)B	WEB会議	地域におけるスポーツ指導	岡田
10		社会的健康戦略研究所・ウェルビーングマネジメントシステム検討	WEB会議	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
11		公益財団法人日本パラスポーツ協会 障がい者スポーツトレーナー部会	NTC東京	障がい者スポーツトレーナー部会	半田
12		A 価約回次人口 4 パンク パーフ 励	加茂B&G	ボッチャ研修会	岡田
14	2023/3/10	四収示云田中 建尿灰対・地域六工社云ノヽリこめんなり建康・人小一ノをちんる餠修芸	NH X, D Q Q	小 / / で別形式	岡田

2. 役員会等に関する事項

【理事会、評議員会等】

【生事云、叶殿貝云寺】	
令和4年	第1回理事会(ケアポートみまき:理事 10名、監事2名、名誉所長1名、事務局3名)
6月11日(土)	決議事項 第1号議案:令和3年度事業報告及び決算について
	第2号議案:令和4年度定時評議員会の招集について
	第3号議案:評議員及び理事・監事の推薦について
	第4号議案:顧問・客員研究員の推薦について
	第5号議案:令和4年度第1次補正予算について
	第6号議案:日本財団助成事業の業者選定について
	第7号議案:賛助会員制度に伴う定款変更と規程整備について
	報告事項 前回議事報告
	代表理事及び業務執行理事の職務執行状況
	御寄附の報告
	日本財団助成事業(2021~2022 年度)の進捗状況
	(一社)スポーツ・コンプライアンス教育機構受託
	令和4年度スポーツ庁「障害者スポーツ推進プロジェクト」
6月27日(月)	定時評議員会(ケアポートみまき:評議員 14名、理事 4名、監事 2名、事務局 6名)
6月21日(月)	
	決議事項 第1号議案:令和3年度事業報告及び決算の承認
	第2号議案:理事・監事の選任について
	第3号議案:定款変更について
	報告事項 令和4年度事業計画・予算と役職員の体制
	日本財団助成事業(2020~2022 年度)の取り組み
	(一社)スポーツ・コンプライアンス教育振興機構受託
	令和4年度スポーツ庁「障害者スポーツ推進プロジェクト」
	賛助会員制度の検討状況
	一般社団法人日本転倒予防学会事務局業務の受託
6月27日(月)	第2回理事会(書面決議:理事10名)
	決議事項 第1号議案:代表理事選定の件について
	第2号議案:業務執行理事選定の件について
	第3号議案:所長の任命について
	第4号議案:名誉所長及び顧問の推薦について
11月13日(日)	第3回理事会(ケアポートみまき:理事 10名、監事2名、名誉所長1名、事務局2名)
	決議事項 第1号議案:育児休業等規則及び介護休業等規則の改定について
	第2号議案:令和4年度第2次補正予算について
	報告事項 第 1,2 回議事報告
	代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
	令和4年度事業中間報告及び上半期決算報告
	各種事業の進捗状況
	第9回しんたい学会について
	ホームページの運営状
	ご寄付の報告
∧ = = =	
令和5年	第4回理事会(サンテラスポール:理事10名、監事2名、名誉所長1名、事務局2名)
3月25日(土)	決議事項 第1号議案:就業規則の改定について
	第2号議案:給与規程の改定について
	第3号議案:在宅勤務規程の制定について
	第4号議案:令和5年度事業計画・予算について
	第5号議案:資金調達及び設備投資の見込みについて
	報告事項 第3回議事報告
	代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
	令和4年度事業中間報告及び決算見込み
	ホームページの運営状況
	ご寄付の報告
	東京健康リハビリテーション総合研究所委託事業の成果報告

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

NI.	日程	1(衣理事及の業務執行理事の職務執行私代報音 職務内容	担当理事
No.	·		
1	4月01日(金)	辞令交付、年度始め式、業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
2	4月19日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
3	4月27日(水)	日本財団吉倉常務理事との懇談	翠川・岡田
$\frac{4}{2}$	4月28日(木)	東京健康リハ総研・研究所うんなん合同会議	翠川・岡田
5	5月10日(火)	日本転倒予防学会甲斐事務局長との懇談	翠川・岡田
6	5月17日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
7	5月24日(火)	東方久男顧問公認会計士会計指導	翠川・岡田
8	6月07日(火)	法人決算監査	小林・翠川・岡田
9	6月09日(木)	とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・岡田
10		業務執行理事会	田丸・小林・翠川・岡田
11	C日10日(A)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
12	6月10日(金)	東御市議会全員協議会決算説明	田丸・小林・翠川・岡田
13	6月11日(土)	令和4年度第1回理事会	田丸・小林・翠川・岡田
14	6月21日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
15	6月27日(月)	令和 4 年度定時評議員会 令和 4 年度第 2 回理事会	田丸・小林・翠川・岡田田丸・小林・翠川・岡田
$\begin{array}{ c c } & 16 \\ & 17 \end{array}$	7月05日(火)	市和平中度第2回座事会 島根県雲南市吉山副市長来訪	田丸・小林・翠川・岡田田田
18	7月05日(火)	歯状が芸術中ロ四間中及木砂 身体教育医学研究所うんなん運営委員会(中止)	小林・翠川・岡田
	7月19日(火)7月29日(金)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
19			田丸・翠川・岡田
20	8月19日(金)	倉澤隆平先生・若月賞受賞祝賀会 ホルカのスポーツは	
21	8月21日(日)	みんなのスポーツ体験会	小林• 岡田
22	8月29日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
23	9月29日(木)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
24	10月07日(金)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
25	11月08日(火)	とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・ 岡田
26	11月09日(水)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
27	11月13日(日)	令和 4 年度第 3 回理事会	田丸・小林・翠川・岡田
28	11月30日(水)	業務執行理事会	田丸・小林・翠川・岡田
29	12月12日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
	2023年		
30	1月17日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
31	1月26日(木)	ケアポートよしだ訪問・日本財団助成事業打合せ	小林・翠川・岡田
32	1月27日(金)	身体教育医学研究所うんなん運営委員会	小林・翠川・岡田
33	2月02日(木)	上田女子短期大学堤准教授との懇談	田丸・小林・翠川・岡田
34	2月10日(金)	武藤名誉所長と花岡市長との懇談他	田丸・小林・翠川・岡田
35	2月20日(月)	とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・
36	2月21日 (火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
37	3月04日(土)	Sany TOMI 創設 1 周年記念報告&発表会	田丸・ 岡田
38	3月20日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・小林・翠川・岡田
39	3月23日(木)	東京健康リハ総研・研究所うんなん合同会議	岡田
40	3月25日(土)	令和4年度第4回理事会、第9回しんたい学会	田丸・小林・翠川・岡田
41	3月30日(木)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
42	3月31日(金)	辞令交付	田丸・小林・ 岡田

3. 各年度末の正味財産、経常収益、経常費用、人件費率、固定資産の推移

図1 正味財産期末残高の推移(公益認定後の2011年度以降、単位:百万円)

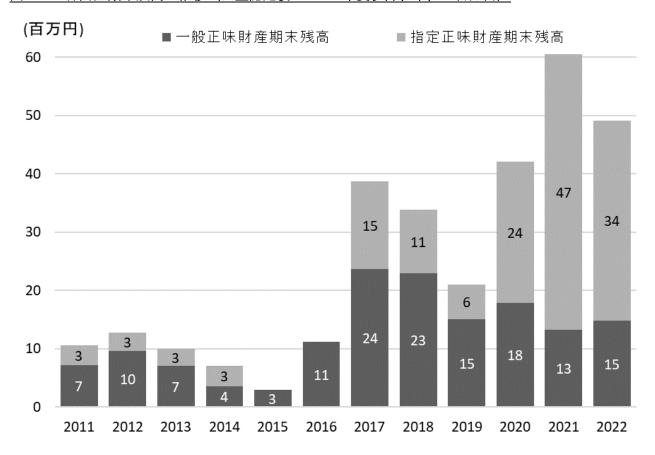


図2 経常収益の推移①(公益目的事業区分別、公益認定後の2011年度以降、単位:百万円)

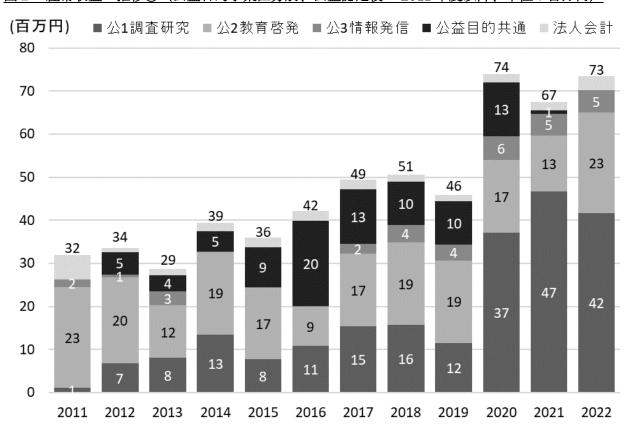


図3 経常収益の推移②(大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位:百万円)

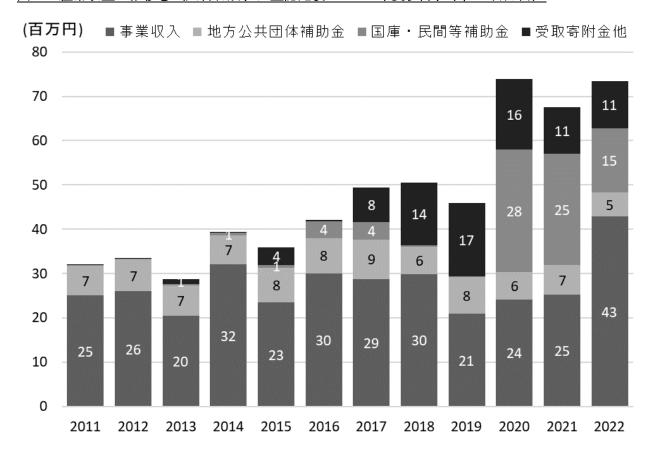


図4 経常費用および人件費率の推移(大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位:百万円)

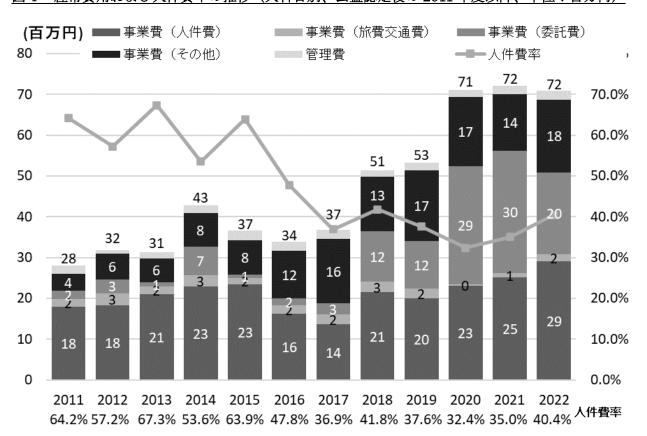


図5 固定資産の推移(公益認定後の2011年度以降、単位:百万円)

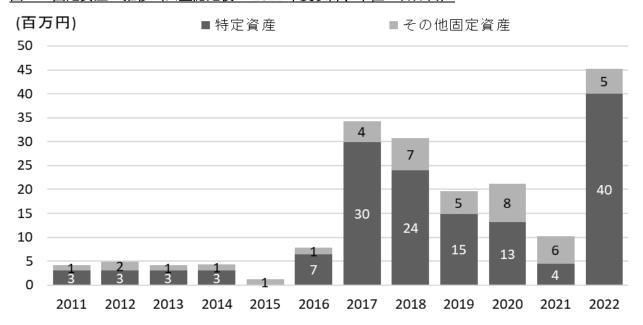


表 各年度で特記すべき規模の補助金・助成金・支援金・委託費・寄附金等

表	度で特記すべき規模	臭の補助金・助成	金・又仮金・多	公式賞・ 前附金寺	_	
	東御市 ※毎年の	補助・委託は省略				
年度	健康福祉関係	高地関係	長野県	国	民間	寄附
	(補助金以外)	(外部含む)				
0011			元気づくり、			
2011			新しい公共			
			元気づくり、			
2012			新しい公共			
2013	健康課題調査	施設誘致	元気づくり			
2014	健康課題調査) 施設誘致				
2015		 施設誘致				
2015		心心及的疾				
2016	子ども研究	プ [°] ロモーション		厚労省支援事業	日本財団	
		フ゜ロモーション、				 戸部様、
2017		国際シンポ	元気づくり		健体財団	匿名遺贈受付
2018		日本水泳連盟				匿名遺贈支出
						 戸部様、
2019		日本水泳連盟	元気づくり			匿名遺贈支出
				スポーツ庁支援、	日本財団、	= +0.1*
2020	健康づくり動画	日本水泳連盟、	元気づくり	経産省給付金、	B&財団、	戸部様、
		モニタリング		中小庁給付金	健体財団	匿名遺贈支出
0001	ロクエンゼモ	インナー施策、	二年ベノロ		日本財団、	一 如#
2021	ワクチン接種	モニタリング	元気づくり		B&G 財団	戸部様
9099	ロクエン・拉廷	高トレ効果研究、			日本財団、	三 如#
2022	ワクチン接種	モニタリング			B&G 財団	戸部様

Ⅲ. 法人の課題

改善すべき点や今後の方向性など法人の課題について、直近の事業の状況や近年の社会情勢もふまえて、大きく3つ(A: 連携、B: 財源、C: 構想)に分けて整理したうえで、以下の通り箇条書きで示す。

A) 【連携】日頃から、研究所内、法人組織内、関連機関との円滑な連携で活動が進めやすい環境を整える。

- 研究所の業務形態は、調査研究、教育啓発、情報発信、法人管理運営と大きく 4 つに分かれ、研究部、 指導部、総務部それぞれが役割分担しながら、これらの取り組みを進めている。また、活動する分野に ついても、子どもの育ち、心身の健康、みんなのスポーツ、と幅広いため、どうしても所員個々の分業 で進めざるを得ず、各所員への負担が大きくなりやすい。月例ミーティングやメール・LINE 等での業 務連絡・情報共有は行っているが、所内でより連携を深めて事業に取り組めるように、全体の業務負担 を軽減しながら時間的な余裕を作っていく必要がある。
- 長年、研究所活動の核を担ってきた指導部長の今年度末での退任に伴い、各所員への負担が大きくなることが予想される。事業を継続していくためにも、適任の後任者を早急に確保することが不可欠である。
- 法人組織内の客員研究員や役員等と、不定期であっても情報共有や意見交換ができる機会を定着させる。 そのことにより、研究所に関わる貴重な人材から、活動の充実に力添えを受けられる流れを作る。
- 研究所うんなん、東京健康リハ総研、その他つながりの深い関係機関・団体・企業等との連携について も、これまで以上に協働を意識し、信頼関係を高めながらより大きな成果が得られるように努める。

B) 【財源】公益目的事業の持続可能性を高めるために、大口の収益に依存し過ぎない安定財源を構築する。

- 法人存続要件の正味財産 300 万円を下回った 2015 年度以降、外部資金獲得を含んだ様々な自助努力と 関連機関の支援、そして多額のご寄附等によって、年度ごとの変動は大きいものの、結果的に継続して 一定以上の正味財産を維持できてきた。しかし、継続して得られる保証がない大口の財源は不安定要因 でもあることから、小口でも多数の支援を継続して受けられるような仕組み(会員制度等)を構築する。
- 今年度末正味財産は、延長した日本財団助成事業分が多くを占め、来年度末は厳しい状況が予想される。
- 単体では収支バランスが取りにくい事業の多くは存在意義の大きな取り組みであり、周囲の理解と協力が得られやすいことから、事業継続のための支援を受けられるように、より積極的に働きかけていく。

C) 【構想】Society 5.0 やポストコロナ等を見据えて、次期(第4期)中期計画(2024~2027)を検討する。

- 「情報社会」の次の新たな社会のあり様として、「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と定義される Society 5.0 を見据えて、今後予測される活動形態の変容を想定しながら、次期中期計画期間に向けた構想を具体化していく。
- 新型コロナウイルス感染症拡大によって経験した社会の大きな変化をふまえて、これから起こり得ることに想像力を働かせながら、今後改善・解決すべき新たな社会課題に積極的に取り組んでいく。
- デジタルの発達が進むがゆえのアナログの価値や、リアルな場・体験の重要性等、関わりのある活動の中で普遍的な価値が見いだせるものを研究所の取り組みの強みとして、理解者・支援者を増やしていく。





【左】一般社団法人日本経済団体連合会より https://www.keidanren.or.jp/policy/society5.0.html

【右】内閣府 > 政策 > 科学技術政策 > Society 5.0 より <u>https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/</u>

決 算 報 告 書

第 16 期

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

公益財団法人 身体教育医学研究所

貸借対照表

公益財団法人身体教育医学研究所

令和5年 3月31日現在 (単位:円)

科目	当 年 度	前 年 度	増減
〔資産の部〕			
【流動資産】			
現金預金	901,831	2, 440, 257	\triangle 1, 538, 426
未収金	9, 388, 404	53, 598, 863	△ 44, 210, 459
流動資産合計	10, 290, 235	56, 039, 120	\triangle 45, 748, 885
【固定資産】			
(特定資産)			
公益目的事業積立資産	3, 000, 000	2, 500, 000	500,000
つながり支援普及事業積立資産	34, 382, 902	0	34, 382, 902
退職給付引当資産	2, 687, 067	1, 974, 354	712, 713
特定資産合計	40, 069, 969	4, 474, 354	35, 595, 615
(その他固定資産)			
車両運搬具	258, 176	616, 628	△ 358, 452
什器備品	4, 547, 836	5, 179, 105	△ 631, 269
ソフトウエア	414, 810	0	414, 810
その他固定資産合計	5, 220, 822	5, 795, 733	△ 574, 911
固定資産合計	45, 290, 791	10, 270, 087	35, 020, 704
資産合計	55, 581, 026	66, 309, 207	△ 10, 728, 181
〔負債の部〕			
【流動負債】			
未払金	3, 345, 384	3, 370, 748	△ 25, 364
預り金	426, 142	487, 469	△ 61,327
流動負債合計	3, 771, 526	3, 858, 217	△ 86, 691
【固定負債】			
退職給付引当金	2, 687, 067	1, 974, 354	712, 713
固定負債合計	2, 687, 067	1, 974, 354	712, 713
負債合計	6, 458, 593	5, 832, 571	626, 022
〔正味財産の部〕			
【指定正味財産】			
民間補助金	34, 382, 902	47, 200, 000	\triangle 12, 817, 098
指定正味財産合計	34, 382, 902	47, 200, 000	△ 12, 817, 098
【一般正味財産】	14, 739, 531	13, 276, 636	1, 462, 895
(うち特定資産への充当額)	(3, 000, 000)	(2, 500, 000)	(500, 000)
正味財産合計	49, 122, 433	60, 476, 636	△ 11, 354, 203
負債及び正味財産合計	55, 581, 026	66, 309, 207	\triangle 10, 728, 181

令和4年度正味財産増減計算書

公益財団法人身体教育医学研究所

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位:円)

		31 E - I	111 - 15
科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部 (1)経常収益 特定資産運用益			
<u>(1)経常収益</u>			
特定資産連用益	38	139	△ 101
<u> </u>	38	139	△ 101
事業収益	42,873,571	25,312,211	17,561,360
受託協力事業収益 	34,331,090	19,590,474	14,740,616
講師派遣事業収益	7,681,830	5,306,229	2,375,601
研究会等開催事業収益	194,892 55,717	0	194,892
出版物用発刊事業収益	55,717	37.066	18,651
その他事業収益	610,042	378,442	231,600
受取補助金等	19.874.098	31,658,000	△ 11,783,902
受取地方公共団体補助金	5,350,000	6.540.000	△ 1.190.000
受取民間補助金	1,707,000	1,207,000	500,000
受取補助金等振替額	12,817,098	23,911,000	△ 11,093,902
受取寄附金	10,626,700	10,503,469	123,231
受取客附金	10,626,700	10,503,469	123,231
雑収益	329	93	236
<u> </u>	329	93	236
经量収益計	73,374,736	67,473,912	5,900,824
(2)経常費用	70,071,700	07,170,012	0,000,021
事業費	68,717,083	70,052,591	△ 1,335,508
<u> </u>	17,218,947	16,315,364	903,583
臨時雇賃金	6,952,587	4,624,467	2,328,120
経常収益計 (2)経常費用 事業費 給料手当 臨時雇賃金 退職給付費用	1,432,713	1,018,917	413,796
	3,396,363	2,980,092	415,790
<u> </u>	68,254	2,980,092	△ 213,992
	1 662 064	202,240	700 222
	1,663,964	875,631	788,333
理學 上述 一述 通信運搬費 一述 河框信用費 一述 河框付器備品費 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述	149,519 2,626,609	180,043 2,647,346	△ 30,524 △ 20,737
<u> </u>		2,047,346	
現我任益順品質	1,111,235	922.514 1,106.518	188,721
<u> </u>	710,140	1,106,518	△ 396,378
	105,520	112,705	△ 7,185 △ 260,768
<u>修語質</u>	355,998	616,766	△ 260,768
印刷製本費	246,990	856,054	△ 609,064
燃料費	731,476	704,720	26,756
光熱水料費	543,000	543,000	0
賃借料	890,080	259,660	630,420
上上上 保険料	394,461	492,953	△ 98,492
諸謝金	5,092,791	3,169,100	1,923,691
租税公課	2,028,300	1,218,912	809,388
では、	541,512	499.990	41,522
会議費	105,068 20,141,277	97 356	7,712
委託費	20,141,277	30,101,366	△ 9,960,089
会議員 安託 安託 報費 姓君	2.210.279	426.871	1,783,408
管押費	3,194,758	1,993,154	1,201,604
役員報酬 給料手当 臨時雇賃金	154,300	159,500	△ 5,200
給料丰当	480,000	480,000	0
臨時雇賃金	2,063,415	1,180,260	883,155
法定福利費	293,752	0	
会議 費	2,283	22,053	△ 19.770
会議費 旅費 通信運搬費 和税公理	103,840	68.760	35,080
福信運搬	5,180	00,700	5.180
和稅公課	0,100	600	△ 600
	500	000	500
相税公課 賃借料 雑費	91,488	81,981	9,507
	71,911,841	72,045,745	△ 133.904
評価捐益等調整前 当期経堂慢減額	1,462,895	△ 4,571,833	6,034,728
	0	0 0	0,004,720
評価損益等調整前当期経常増減額 評価損益等計 当期経常増減額 2.経常外増減の部	1,462,895	△ 4,571,833	6.034.728
- <u>自効性単値機関</u> 2.経常外増減の部	1,402,090	△ 7,071,000	5,554,720
(1)控系外收益 経常外收益計 (2)経常外費用 経常外費用計 当期経常外増減額 当期一般正味財産増減額	0	0	0
(2)経党从春田		0	
经党队费田計	0	0	0
<u> </u>	0	0	0
<u> </u>	1,462,895	△ 4,571,833	6,034,728
<u> </u>		17 0/0 /60	
当期一般正味財產增減額 一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 一般正味財産期末残高	13,276,636	17,848,469	△ 4,571,833
	14,739,531	13,276,636	1,462,895
Ⅱ 指定正味財産増減の部	1		
受取民間補助金等		47.000.000	A 47.000.000
受取民間補助金 受取民間補助金返還額	0	47,200,000	△ 47,200,000
受取民間補助金返還額	0	△ 299,000	299,000
一般正味財産への振替額	△ 12.817.098	△ 23,911,000	11,093,902
当期指定正味財産増減額	△ 12,817,098	22,990,000	△ 35,807,098
指定正味財産期首残高	47,200,000	24,210,000	22,990,000 \triangle 12,817,098
指定正味財産期末残高	34,382,902	47,200,000	△ 12,817,098
Ⅲ 正味財産期末残高	49,122,433	60,476,636	△ 11,354,203
			

令和4年度正味財産増減計算書内訳表

	公益財団法人身体教育医学研究所			יי די דוף נו	及正咻別性			和4年4月1日カ	いら令和5年3月	31日まで	(単位:円)
Ī	—————————————————————————————————————	() 4 = = = = = = = = = = = = = = = = = =		公益目的事業会計		=1	法人会計	合計	前年度	差異	当年度	遂行率
,	I 一般正味財産増減の部	公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計		(A)	決算(B)	(A-B)	予算(C)	(A/C)
· -												
2	1. 経常増減の部											
3	(1)経常収益		10	0	00	00	0	00	100	A 101		
4	特定資産運用益	2	13	0	23	38	0	38	139	△ 101	0	<u> </u>
5	特定資産受取利息	2	13	0	23	38	0	38	139	△ 101	0	
6	事業収益	18,832,126	20,860,334	55,637	0	39,748,097	3,125,474	42,873,571	25,312,211	17,561,360	29,139,000	
7	受託協力事業収益	18,659,474	12,546,142			31,205,616	3,125,474	34,331,090	19,590,474	14,740,616	22,616,000	152%
8	講師派遣事業収益	30,760	7,651,070			7,681,830		7,681,830	5,306,229	2,375,601	6,505,000	118%
9	研究会等開催事業収益	139,892	55,000			194,892		194,892	0	194,892	0	
10	出版物用発刊事業収益	2,000		53,717		55,717		55,717	37,066	18,651	18,000	310%
11	その他事業収益		608,122	1,920		610,042		610,042	378,442	231,600	0	*
12	受取補助金等	12,817,098	2,057,000	5,000,000	0	19,874,098	0	19,874,098	31,658,000	△ 11,783,902	53,700,000	37%
13	受取地方公共団体補助金		350,000	5,000,000		5,350,000		5,350,000	6,540,000	△ 1,190,000	5,350,000	100%
14	受取民間補助金		1,707,000			1,707,000		1,707,000	1,207,000	500,000	1,150,000	148%
15	受取補助金等振替額	12,817,098				12,817,098		12,817,098	23,911,000	△ 11,093,902	47,200,000	27%
16	受取寄付金	10,000,000	505,000	0	121,700	10,626,700	0	10,626,700	10,503,469	123,231	10,022,000	106%
17	受取寄附金	10,000,000	505,000		121,700	10,626,700		10,626,700	10,503,469	123,231	10,022,000	106%
18	雑収益	0	0	0	0	0	329	329	93	236	2,000	16%
19	利子収益					0	329	329	93	236	2,000	16%
20	経常収益計	41,649,226	23,422,347	5,055,637	121,723	70,248,933	3,125,803	73,374,736	67,473,912	5,900,824	92,863,000	79%
21	(2)経常費用											
22	事業費	41,960,126	16,157,581	6,258,180	4,341,196	68,717,083		68,717,083	70,052,591	△ 1,335,508	85,931,000	80%
23	給料手当	7,006,640	5,574,181	4,638,126		17,218,947		17,218,947	16,315,364	903,583	17,149,000	100%
24	臨時雇賃金	4,326,509	2,626,078			6,952,587		6,952,587	4,624,467	2,328,120	7,106,000	98%
25	退職給付費用	377,598	815,115	240,000		1,432,713		1,432,713	1,018,917	413,796	720,000	199%
26	法定福利費	1,501,267	1,234,802	660,294		3,396,363		3,396,363	2,980,092	416,271	3,927,000	86%
27	福利厚生費				68,254	68,254		68,254	282,246	△ 213,992	270,000	25%
28	旅費交通費	973,538	515,744	21,520	153,162	1,663,964		1,663,964	875,631	788,333	1,549,000	107%
29	通信運搬費	91,556	14,934		43,029	149,519		149,519	180,043	△ 30,524	290,000	52%
30	減価償却費	950,569	710,889		965,151	2,626,609		2,626,609	2,647,346	△ 20,737	2,442,000	108%
31	消耗什器備品費	238,363	872,872			1,111,235		1,111,235	922,514	188,721	2,133,000	52%
32	消耗品費	384,587	29,931		295,622	710,140		710,140	1,106,518	△ 396,378	117,000	607%
33	書籍費		53,014		52,506	105,520		105,520	112,705	△ 7,185	65,000	162%
34	修繕費				355,998	355,998		355,998	616,766	△ 260,768	280,000	127%
35	印刷製本費		123,260	6,690	117,040	246,990		246,990	856,054	△ 609,064	1,614,000	15%
36	燃料費	67,452	282,024	,	382,000	731,476		731,476	704,720	26,756	1,111,000	
37	光熱水料費	,	, _		543,000	543,000		543,000	543,000	0	305,000	178%
38		658.720	75.020	75.000	81,340	890,080		890.080	259,660	630.420	16.458.000	
55	ABTI	000,720	70,020	, 5,000	31,310	555,000		555,000	200,000	555,120	10,100,000	

	—————————————————————————————————————			公益目的事業会計			法人会計	合計	前年度	差異	当年度	遂行率
			公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計	ДДДП	(A)	決算(B)	(A-B)	予算(C)	(A/C)
39	保険料	5,000	70,661		318,800	394,461		394,461	492,953	△ 98,492	422,000	93%
40	諸謝金	4,673,545	224,350	83,526	111,370	5,092,791		5,092,791	3,169,100	1,923,691	1,504,000	339%
41	租税公課	946,949	1,013,022	2,529	65,800	2,028,300		2,028,300	1,218,912	809,388	1,071,000	189%
42	支払負担金	341,706	188,006		11,800	541,512		541,512	499,990	41,522	328,000	165%
43	会議費	18,616	52,436	20,000	14,016	105,068		105,068	97,356	7,712	20,000	525%
44	委託費	17,835,974	1,313,003	453,500	538,800	20,141,277		20,141,277	30,101,366	△ 9,960,089	26,748,000	75%
45	雑費	1,561,537	368,239	56,995	223,508	2,210,279		2,210,279	426,871	1,783,408	302,000	732%
46	管理費						3,194,758	3,194,758	1,993,154	1,201,604	2,940,000	109%
47	役員報酬						154,300	154,300	159,500	△ 5,200	186,000	83%
48	給料手当						480,000	480,000	480,000	0	480,000	100%
49	臨時雇賃金						2,063,415	2,063,415	1,180,260	883,155	1,745,000	118%
50	法定福利費						293,752	293,752	0	293,752	300,000	*
51	会議費						2,283	2,283	22,053	△ 19,770	45,000	5%
52	旅費交通費						103,840	103,840	68,760	35,080	121,000	86%
53	通信運搬費						5,180	5,180	0	5,180	5,000	104%
54	租税公課						0	0	600	△ 600	3,000	0%
55							500	500	0	500	0	*
56	雑費						91,488	91,488	81,981	9,507	55,000	166%
57	経常費用計	41,960,126	16,157,581	6,258,180	4,341,196	68,717,083	3,194,758	71,911,841	72,045,745	△ 133,904	88,871,000	81%
58	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 310,900	7,264,766	△ 1,202,543	△ 4,219,473	1,531,850	△ 68,955	1,462,895	△ 4,571,833	6,034,728	3,992,000	37%
59	評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
60	当期経常増減額	△ 310,900	7,264,766	△ 1,202,543	△ 4,219,473	1,531,850	△ 68,955	1,462,895	△ 4,571,833	6,034,728	3,992,000	37%
61	2. 経常外増減の部											
62	(1)経常外収益											
63	経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
64	(2)経常外費用											
65	経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
66	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
67	当期一般正味財産増減額	△ 310,900	7,264,766	△ 1,202,543	△ 4,219,473	1,531,850	△ 68,955	1,462,895	△ 4,571,833	6,034,728	3,992,000	37%
68	一般正味財産期首残高	212,200	,== 1,1 00	,,	,,_,	,==,,==		13,276,636	17,848,469	△ 4.571.833	13,276,636	100%
69	一般正味財産期末残高							14,739,531	13.276.636	1,462,895	17,268,636	85%
70								,	1 1,2, 0,000	1,102,000	11,200,000	55%
71	受取補助金等	0	0	0	0	0		0	46,901,000	△ 46.901.000	0	*
72	受取民間補助金		J		<u> </u>	0		0		△ 47,200,000	0	*
73	受取民間補助金返還額					0		0	△ 299,000	299,000	0	*
74	一般正味財産への振替額	△ 12,817,098				△ 12,817,098		△ 12,817,098	△ 23,911,000	11,093,902	△ 47,200,000	27%
75	当期指定正味財産増減額	△ 12,817,098	0	0	0	Δ 12,817,098	0	Δ 12,817,098	22,990,000	△ 35,807,098	△ 47,200,000	27%
75 76		Z 12,017,090	U	U	O .	A 12,017,090	0	47,200,000	24,210,000	22,990,000	47,200,000	100%
77	指定正味財産期末残高							34,382,902	47,200,000	Δ 12,817,098	47,200,000	100/0
	Ⅲ 正味財産期末残高						0					20.40/
78	皿 正怀别胜别不残局						U	49,122,433	60,476,636	△ 11,354,203	17,268,636	284%

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法 定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づき、期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度支給額を控除した金額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税込方式により行っている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的事業積立資産	2, 500, 000	500, 000	0	3, 000, 000
つながり支援普及事業積立資産	0	34, 382, 902	0	34, 382, 902
退職給付引当資産	1, 974, 354	712, 713	0	2, 687, 067
合 計	4, 474, 354	35, 595, 615	0	40, 069, 969

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち基金に 対応する額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産					
公益目的事業積立資産	3, 000, 000	(0)	(3,000,000)	(0)	(0)
公益目的事業積立資産	34, 382, 902	(34, 382, 902)	(0)	(0)	(0)
退職給付引当資産	2, 687, 067	(0)	(0)	(0)	(2,687,067)
小計	40, 069, 969	(34, 382, 902)	(3, 000, 000)	(0)	(2,687,067)
合 計	40, 069, 969	(34, 382, 902)	(3,000,000)	(0)	(2,687,067)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5, 492, 660	5, 234, 484	258, 176
什器備品	11, 369, 221	6, 821, 385	4, 547, 836
ソフトウエア	460, 900	46, 090	414, 810
合 計	17, 322, 781	12, 101, 959	5, 220, 822

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

	7/1 - H1/1-1/2 - //	11.7 11.7 90				(十四・11)
補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 情報発信事業補助金	東御市	0	5, 000, 000	5, 000, 000	0	
障がい児(者)健康づくり運動 支援事業補助金	東御市	0	350, 000	350, 000	0	_
障がい児(者)健康づくり運動 支援事業補助金	(福)東御市社会福祉協議会	0	150, 000	150, 000	0	_
休眠預金を活用した体験格差 解消事業助成金	(公財)ブルーシー・アンド・ グリーンランド財団	0	1, 057, 000	1, 057, 000	0	_
新型コロナウィルス感染症に 伴う社会活動支援金	(公財)日本財団	47, 200, 000	0	12, 817, 098	34, 382, 902	指定正味財産
障がい児(者)健康づくり運動 支援事業補助金	(公財)村石スポーツ振興財団	0	500, 000	500, 000	0	_
合	計	47, 200, 000	7, 057, 000	19, 874, 098	34, 382, 902	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
受取民間補助金の振替額	12, 817, 098
合 計	12, 817, 098

7. その他

退職給付関係

(1)採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職金規程に基づく退職一時金制度を設けている。

(2)	退職	(単位:円 <u>)</u>	
	1	退職給付債務	$\triangle 7,782,467$
	2	中小企業退職金共済制度支給額	5, 095, 400
	3	退職給付引当金(①+②)	$\triangle 2,687,067$

(3) 退職給付費用に関する事項

1	中小企業退職金共済制度掛金	720, 000
2	退職給付引当金繰り入れ	712, 713
3	退職給付費用(①+②)	1, 432, 713

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職金規程に基づく退職一時金制度による期末自己都合要支給額から、中小企業退職金共済制度による支給額を控除した金額に相当する金額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表に対する注記2に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

退職給付引当金 (単位:円)

~		1/-					(1 1 1 1 1 7
	科	Ħ	期首残高	当期増加額	当期》	載少額	期末残高
	村 目	别目/汉同		目的使用	その他	别人/艾同	
	退職給付引	当金	1, 974, 354	712, 713	0	0	2, 687, 067

財産 目 録 令和5年3月31日現在

令和5年3月31日現在 (単位:円)					
	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金	額
【流動資産]				
現金		手元保管	運転資金として		7, 680
	預金	普通預金 八十二銀行田中支店	運転資金として		894, 14
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として		
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として		:
		普通預金	運転資金として		
		佐久浅間農業協同組合北御牧支所 当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	運転資金として		
			<預金計>		901, 83
	未収金	東御市	事業収益等未収分	4	4, 023, 12
		(一社)日本転倒予防学会	事業収益等未収分	3	3, 720, 657
		特定非営利活動法人東御市スポーツ協会	事業収益等未収分		590, 000
		星のや軽井沢他	事業収益等未収分	1	1, 054, 624
			<未収金計>	ç	9, 388, 404
 流	動資産合計			10	0, 290, 235
固定資産					
 定資產	公益目的事業積立資産	普通預金 八十二銀行田中支店 普通預金 八十二銀行田中支店他 普通預金 八十二銀行田中支店	公益目的事業の積立資金である。	3	3, 000, 000
	つながり支援普及事業 積立資産		公益目的事業の積立資金である。	34	4, 382, 902
	退職給付引当資産		公益目的事業の積立資金である。	2	2, 687, 06
			<特定資産合計>	40	0, 069, 969
で他 同定資産	車両運搬具	車両4台	公益目的保有財産である。		258, 176
1.亿 頁/生	什器備品	パソコン10台、筋力測定器他	公益目的保有財産である。	4	4, 547, 836
	ソフトウエア	会計ソフト	公益目的保有財産である。		414, 810
			<その他固定資産合計 >	Ę	5, 220, 822
固定資産合計				45	5, 290, 791
資産合	計			55	5, 581, 026
【流動負債					
	未払金	上田税務署他	事業費等未払分	S	3, 345, 384
預り金		役職員他	源泉所得税等		426, 142
流動負債合計				3	3, 771, 526
【固定負債】 退職給付引当金		磁目	職員2名に対する退職金の支払いに		
		職員	職員2名に対する退職金の支払い 備えたもの	2	2, 687, 067
	定負債合計			2	2, 687, 067
負債合計				(5, 458, 593
正味財産				49	9, 122, 433

令和4年度 ご寄附者報告

公益財団法人身体教育医学研究所

1. 寄附金

	寄附採納 受付年月日	贈与者氏名(敬称略)	金額	備考
1	R4.4.4	土井 修一	10,850 円	太陽光発電料金相当(R3.10~R4.3月分)
2	R4.9.30	湯の丸観光開発株式会社	100,000 円	法人事業全般に対する寄附
3	R4.10.6	土井 修一	10,850 円	太陽光発電料金相当(R4.4~R4.9月分)
4	R4.12.22	匿名	5,000 円	法人事業全般に対する寄附
5	R5.1.11	戸部 渉	10,000,000 円	法人事業全般に対する寄附
6	R5.1.31	樫山工業株式会社	500,000 円	法人事業全般に対する寄附
7				
8				
9				
10				
			10,626,700 円	

2. 寄贈品

	寄附採納 受付年月日	贈与者氏名	寄贈品	備考
1				
2				
3				
4				
5				

監査報告書

公益財団法人身体教育医学研究所

代表理事 田丸 基廣 様

令和5年5月25日

公益財団法人身体教育医学研究所

監事 JA 大印子

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を 監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとと もに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からのその職務の執行状況につい て報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調 査いたしました。その方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借 対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認め られません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。